

～「100人100とおりのまちづくり」

任田和真さんをお迎えして～

5月20日

今日のお話を聞いて、今まで絶対に無理だと思っていたことが、可能だった、ということが分かりました。理由は、今までは、たった数人の一般の人が考えた企画で、まちを盛り上げたりなんて無理で、結局、大規模なレジャー施設や、観光スポットなどがないと、人はこないと思っていたけど、今日のまちづくりの話聞いて、一般の人でも、本当にみんなが楽しめる企画や、みんなが行きたくなるような企画を考えて、それを実行すれば、まちを盛り上げることができて、無理やり都会のように建物をつくったりしなくても、そのまちならではの企画で、人を増やすことができる、ということが分かったからです。でも、そんな企画をつくるにしても、大変なことはいっぱいあって、その企画をつくるための人を集めるために、周りの人に、「この人ならついていける」と思ってもらえるように「信頼」されないといけないし、みんなが必要としている企画を考えないといけないので、少なくとも、今の僕にはできないと思いました。これからは、任田さんのような大きな企画はできなくても、まずは、小さな企画からやって、少しずつ、周りを盛り上げられるようにしたいです。

任田さんのまちづくりについてのお話を聞いて、一人ではまちづくりができないということを知った。一緒に協力してくれる人を見つけ、それから実行していくこと。でも一緒に協力してくれる人を見つけるのが難しいと知った。プロジェクトをするにあたってどんなことが必要か、そしてどうしていきいたのかを考えることで、良いプロジェクトをすることができる。任田さんは廃校を使って子どもたちを楽しませるプロジェクトをしたいと思い、廃校で逃走中をした。僕はそのことについて聞いたら、自分も参加したい！とか楽しそう！など思ったので、すごいプロジェクトだなと感じた。もう一つ印象に残ったプロジェクトがあって、それはコロナの中でもできる、廃校を使った映画だった。それを聞いて、本当に大丈夫なのと思ったけど、車の中から大きいスクリーンに映した出された映画を見るということだった。僕は任田さんが考えるプロジェクトは、すごくおもしろい発想のものばかりで、いろんな人が参加したくなるようなプロジェクトだなと思った。



任田さんのお話を聞いて、任田さんは考えたことをすぐに行動にうつしていけるところが本当にすごいと思いました。まちづくりをする上で、こんなふうに行動できる人が必要なのだと感じました。僕はまだそんなにはやく行動することができないので、考えてばかりで止まっているのではなく、考えたことをやってみようと、行動していけるようになりたいと思いました。そんな任田さんがプロジェクトしたものに、みんなが協力して大成功した高階町は、本当にすごいと思いました。僕もいつか高階町へ行ってみたいくなりました。行く機会がもしあったら、いろんなことを見たり聞いたりして、それを小松に生かせるようにしたいです。任田さんのように世界で身に付けたコミュニケーション力や相手を思いやる力を、僕もいろんなところで経験して、任田さんのようになりたいと思いました。

まちづくりとは町の未来を考えることだと言っていたので、僕も、この小松市が未来もみんなから愛されるよう、自分ができることを考え、行動し、まちづくりをしていきたいと思いました。

私は任田さんのお話を聞いて、そのまちのことをよく知っているからこそできるのだらうなと思いました。まちのことを知っているから、そのまちの人が困っていることは何か、求めていることは何かということが分かるのだと思います。任田さんは世界のいろいろな国を旅して発想が豊かなのだと感じました。日本の常識にとらわれず、いろいろなことを考えられるのはとてもすごいと思いました。私はあまり外国に行ったことがないので難しいですが、まちのことをよく知ることはできるので、まずはそこから始めてみようと思いました。これから総合の時間でやるまちづくりで、今日任田さんから聞いたお話をいかしてやってみようと思いました。

今日の任田さんのお話をきいて、まず任田さんがこんなおもしろい取組や、すごい取組をしていて、とてもすごい人だと思ったし、任田さんのイベントをやりたいと思いました。そして地球一周も、しようと思っても、普通できないのに、2周もした任田さんの実行力がすごいと思ったし、将来行ってみたいと思いました。自分ももし大人になったら、小松のまちづくりに協力したい。小松をもっとみんなが知っているまちにしたいし、今の自分でも、小松の魅力を発信し、小松のことをもっと広められると思うので、どんどんしていきたいです。また、まちづくりは、建物をたてていくだけだと思っていたけど、そのまちがどうやってよりよいまちになるかということだったんだと、とても興味を持ちました。

私は今日のお話を聞いて、まちづくりは難しいだけではないことが分かりました。自分達にはできないようなことも確かにあるけれど、自分たちにできることもたくさんあることが意外だと思いました。誰かがしていたことを真似したり、自分からできることを探してみたりすれば、自分達にもできるまちづくりがあることが分かりました。これまで自分がまちづくりをすることはなかったと思っていましたが、まちづくりは思っていたよりも身近なことなのだと思います。まちづくりはそのまちに必要なことからではなく、自分のしたいこととそのまちに必要なことを組み合わせて考えることが分かりました。私は、そのまちに必要なでも、自分がしたくないことだと、周りの人もしたくなくて、長く続かないからだと思いました。これはまちづくりだけでなく、何かの企画を考えるときもそうだと思います。これから中学校で企画を考えたり、板中づくりをしたりするときは、自分や周りの人がしたいと思えて、板中のために必要なことを、組み合わせて考えるようにしていこうと思いました。

僕は任田さんの話を聞いて、とても挑戦的なかただと思いました。体育の先生になろうとして普通の体育の先生ではおもしろくないと思って世界を2周したという考えは、今の僕ではとても思いつかないことだと思います。その挑戦的な行動力で、七尾の高階のまちづくりで、廃校を使っただけの逃走中やイルミネーションなど、とても大きなことをやっているんだなと思いました。そしてその努力があって高階に人が来たんだなと思いました。僕ももっと任田さんのように挑戦的な行動力のある人になりたいと思いました。

任田さんのお話を聞いて自分が必要（大事・大切）だと思ったことは、まちづくりをするためにはまず、協力してくれる仲間・友達がいるということです。どんなことをする（はじめる）にも、一人じゃ十分にできないけど、それが2・3人、5・6人と増えていけば、したいことができるし、できることも増えていくのだと思います。「何かをする」となっても「まちに必要なこと」と「やりたいこと」の2つがうまく合わない、人は集まらないし、まちづくりはできないと思います。でも、やりたいことに正解はないから、自分たちが「やりたい！」と思ったことをすればいいし、「できたらいいな」ということもまずはやってみたらいいと分かりました。

まちづくりをするにあたって自分たちのまちに必要なことは、自分のまちの人が喜ぶ・楽しむ・きずなが深まることだと思います。「じゃあそのためにできることは何か・・・」みたいなふうに、自分たちのまちを良い方向へもっていけるようなまちづくりを考えていきたいです。



私は任田和真さんのお話を聞いて、今、自分の住んでいるまちで、何かするという事をしてこなかったのが、任田さんのように、自分の住んでいるまちなどで、将来何かできたらいいなと思いました。

自分の住んでいるまちで企画することは難しいと改めて感じました。そしてこれから任田さんのように、自分の将来などにも視野を広げてたくさんの「新しい」に出会えたらなと思いました。例えば新しい友達、新しい（初めて）きた場所、見たものなど・・・。

また、自分の住んでいるまちだけではなく、自分の住んでいる市などと少しずつ視野を広げていきたいと、今日任田さんのお話を聞いて感じる事ができました。

任田さんのお話を聞いて私は、任田さんが、やりたいと思っていることを、しっかりと実現しているというのがすごいと思いました。また、まちづくりのために、あんなにも尽くせるというのもすごいと思いました。私たちが小松市を動かすというのは少し難しいと思うので、まずは板津や学年を、いい学校、いい学年、いいクラスにしていきたいです。

そのために、任田さんが言っていたように仲間を見つけ、「今の板津の課題」×「自分たちのやりたいこと」を積極的に見つけ、取り組んでいきたいです。任田さんのように好奇心を大切に、2年生では板津をいい方へと導き、板津や学年がハッピーになればいいなと思いました。これからは1人ではなく、みんなで板津をつくり、レベルアップさせていきたいです。

任田さんのお話を聞いて、まちづくりをするにあたって大切なことはまず、そのまちに必要なことと、自分がやりたいと思えることをかけあわせて、まちづくりをしていくと知れて良かったです。大切なこと2つ目は、仲間がいなくてダメということです。一人でやっても、できることは限られてくると思います。何人かいれば、できることも増えると思いました。任田さんは世界2周していることに驚きました。コロナでも映画を見られるように工夫するなど、自分が「やってみたい」と思っていることをしていてすごいと思いました。空いている学校を使い、逃走中の楽しいゲームなどを、イベントごとにやっていてすごいと思いました。そのまちで気軽に集まってお酒などが飲める場所も作っていていいと思いました。そしてあらたに、仲間の大切さに気づけました。仲間がいるから、やり遂げられることもあるんだと分かりました。自分たちがこれから、まちづくりをするにあたって、身近なところから必要なことを探していって、自分たちが「やりたい」と思えることをやりたいです。